

若手研究者教育コーディネーター挨拶

若手研究者教育コーディネーター 河東 泰之

私の役目は若手研究者育成コーディネーターというものです。

その内容は、特任助教、特任研究員などの方々が、大学などのアカデミックな世界の研究職につき、研究者として生きていくことの手助けです。

大学院重点化による大学院生の激増にもかかわらず、少子化、大学予算カットなどによる大学教員ポストの減少、大学間競争の激化により、大学での研究職をめざす道は近年大幅に厳しくなりました。昔と違い、今ではいくつもの任期つきポストを渡り歩きながら終身雇用のポストを目指すのがほぼ必然のコースとなり、その任期つき研究員のポストを得ることも容易ではありません。このような状況で、大学のポストを得るには、多くの努力が必要です。

よい研究成果をあげることが最も重要であることは言うまでもありませんが、それに加えて英語で論文を書き、学会で発表し、自分の研究成果や計画をアピールしていくことはそれほど簡単なことではありません。若手の皆さんが、これらのことについて有益な経験を積み、将来の研究キャリアにつないでいけるようにアドバイスをしていきたいと思います。

また、教育、特に数学を専門とはしない理工系学生に数学を教えることも大学の研究者の主要な仕事であり、その重要性はますます高まっています。高校までの教員になるには教育実習があるのに、大学の教員には何の教育訓練もなくなってしまうというのはおかしなことです。このような教育面の研修も目指しています。

これらについてのコツは、これまでは先生や先輩からなんとなく教わる、あるいは自ら身につけることが中心で、あまり組織的に教えてはいなかったように思います。私はアメリカで大学院を出ましたが、これらのことについてももっといろいろな指導があり、それはその後の研究キャリアにたいへん有益であったと思います。その経験を生かしてこの役目を果たしていきたいと思います。